



東京大学エコノミックスコンサルティング

UTecon
Innovation through Economics



概要

東京大学エコノミックコンサルティング株式会社（略称：UTEcon）は、研究成果を活用した様々な経済コンサルティングサービスを民間企業、政府、法律事務所等のクライアントに提供致します。

UTEcon は 2020 年 8 月に東京大学経済学研究学科との深い連携のもと、指定国立大学法人の特定研究成果活用事業制度に基づき東京大学全額出資で設立されました。

■ 商号：東京大学エコノミックコンサルティング株式会社

（英文）UTokyo Economic Consulting Inc.

■ 開業・設立：令和 2 年 8 月

■ 資本金：1 億円

（主要株主：国立大学法人東京大学、株式会社日本経済新聞社、株式会社東京商工リサーチ）

■ 本社所在地：〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 国際学術総合研究棟 922 号室

■ 代表取締役：川原田陽介

■ 連絡先: info@utecon.net

UTEcon は顧客特有の問題にオーダーメイドで解決方法を提案し、経済学、会計学、マーケティング学に関する専門知識を有した東京大学の教員やその他 UTEcon のエキスパートが信頼性の高い分析を行います。需要予測、価格戦略、政策評価、機械学習に基づいた倒産や不正会計予測、マーケットデザイン、ナウキャストニング、独占禁止法等の法規制、計量・行動マーケティングなど幅広い分野で研究成果を活用したコンサルティングサービスを提供しているため、クライアントのニーズに合った解決策を提供することができます。



事業内容

主要顧客		事業内容
公共政策部門	中央官庁・地方自治体・ NGO・国際機関	EBPM (Evidence based policy making)推進を、ランダム化実験の設計や因果推論を始めとする実証ミクロ経済学等の知見の提供を通じ、技術的・人的に支援
ビジネス部門	民間企業	因果推論等の実証ミクロ経済学の知見を応用し、クライアント内外のビッグデータを活かした日本企業の財務・会計・マーケティング・人事等諸々のビジネス現場の意思決定の効率化を支援
法規制部門	民間企業・法律事務所・官庁	法規制対応や紛争・訴訟における経済学的・定量的な争点につき、学術的研究成果を活用したコンサルティングを提供し、規制当局・裁判所等が適正なエビデンスに基づいて判断することを促進
データプロダクト部門	データベース保有企業	データベース保有企業が持つデータからより付加価値の高いデータプロダクトの開発を支援し、日本企業及び日本経済のさらなる効率化に貢献
その他	-	研修などの企画・運営など

サービス提供分野

▶公共政策部門

政策評価・プログラム評価

UTEcon は政府の「証拠に基づく政策立案」（EBPM）を支援するコンサルティングサービスを提供しています。労働経済学者や計量経済学者等の因果推論手法について豊富な知識を有するUTEcon のエキスパートが、政策効果の評価や重要な指標を達成するための施策・プログラムの効果予測・評価を中立的に行います。UTEcon が提供するサービスには、政策・プログラム評価を目的とした実験のデザインとランダム化実験の実施、差の差分分析、回帰不連続デザイン、マッチング、構造推定等の分析手法を駆使した政策・プログラム効果の推定が含まれます。UTEcon のエキスパートは、政府・自治体の政策の評価手法の開発と、政策効果の評価について、国際的に先端的なレベルの学術的研究を行っています。

エキスパート

泉敦子

上武康亮

大湾秀雄

川口康平

川口大司

久保研介

首藤昭信

滝澤美帆

宮川大介

山口慎太郎

若森直樹

渡辺安虎

▶ビジネス部門

価格戦略

UTEcon は、価格戦略について以下の様々な手法を用いたコンサルティングサービスを提供しています。

- 価格弾力性の推定
- ポイント弾力性、クーポン弾力性の推定
- 価格差別
- 強化学習によるダイナミックプライシング
- 反実仮定の価格シナリオを理解するための構造推定
- サブスクリプションサービス戦略
- A/B テストやその他の価格実験

UTEcon のエキスパートにはアマゾンジャパンの元経済学部門長を含め、実務経験者が多数在籍しており、プロジェクトごとに実務・産業の文脈に関して丁寧な理解をしたうえで、最新手法を用いた価格戦略をご提案致します。UTEcon のエキスパートがクライアントのニーズに合うよう、手法を選択し、モデルを組み立てるオーダーメイド型サービスです。

エキスパート

泉敦子

上武康亮

川口康平

久保研介

柴田真宏

若森直樹

渡辺安虎

計量・行動マーケティング

広告投入やキャンペーンの実施による収益への効果を推定することで、マーケティング費用対効果の検討や効果の最大化のためのコンサルティングサービスを提供します。また、消費者行動のモデル化によって購入に影響する要因のうち各要因の重要度を因果推論を用いて計測することで、クライアントの効果的なマーケティングのご検討に役立てることができます。また、ウェブ広告やEC サイト、ダイレクトメールなど顧客に対して個別のレコメンデーションが可能な場合には、推薦システムのアルゴリズムを提供することが可能です。顧客の属性や過去の購買行動をもとにしたレコメンデーション戦略を提示し、さらに過去のレコメンデーションに対する顧客反応を学習に組み込むことで、クライアントの売上高を最大化する表示等を提案します。

エキスパート

久保研介
上武康亮
川口康平
柴田真宏
山崎俊彦
若森直樹
渡辺安虎

人事労務・マーケットデザイン

ビッグデータを用いて、人材仲介業等で活用できる人材マッチングアルゴリズムの構築を行います。このようなアルゴリズムを使うと、職探しをしている人と空きポストのマッチング精度を高め、成約率が上昇することが期待できます。また、クライアント企業で全体の生産性向上が期待できる社内異動の最適マッチング（社内人材と社内ポストのマッチング）のコンサルティングサービスも行なっています。

加えて、内部人材のモチベーションを高めるためのプログラムの実施を、社内人材の生産性の測定方法の設計等からご支援いたします。実務経験とリサーチ経験が豊富な労務関係エキスパートとマーケットデザインのエキスパートがクライアントをご支援します。

エキスパート

泉敦子
上武康亮
小島武仁
川口康平
大湾秀雄
川口大司
山口慎太郎
渡辺安虎

▶法規制部門

応用ミクロ経済学に基づく市場分析

独占禁止法やその他法規制に関する問題について、UTEcon のエキスパートは、頑健でありながらも最先端の研究成果を活用した説得力の高い分析を、以下のプラクティスを含む幅広い分野で提供致します。

- 企業結合
- 私的独占及び不正な取引方法
- 不当な取引制限
- 知的財産
- 不正会計

UTEcon のエキスパートには、公正取引委員会での実務経験者が含まれており、大学の研究成果を実務に応用した分析を行い、上記の分野での経済分析をはじめ、裁判での専門家レポートの作成や損害賠償額の推計も行います。

エキスパート

泉敦子
上武康亮
川口康平
久保研介
若森直樹
渡辺安虎

▶データプロダクト部門

ビッグデータによるナウキャスティング・フォアキャスティング
POS データ、テキストデータ、サテライトデータ、企業情報等の
ミクロ・ビッグデータを活用して、GDP、価格水準、消費、その他のマクロ経済の変数のほか、業種・地域などの単位でのセミマクロレベルの変数や企業レベルのミクロ変数についてもナウキャスティング・フォアキャスティングを行います。これら最新推計値は、政府の政策立案者、中央銀行、機関投資家による現在の経済状況の把握と将来見通しの構築に役立ち、また国内外の金融商品を保有している民間企業等にとっても有意義な情報を提供します。厳密且つ実務に即した手法で分析を行います。

エキスパート

五島圭一
新谷元嗣
仲田泰祐
宮川大介
山崎俊彦
渡辺努

企業退出・成長予測、不正会計検知・予測

UTEcon のエキスパートは、財務データ等の構造化データを使った大企業と中小企業の退出・成長予測と不正会計の検知・予測について、広範な経験を持っています。

本予測サービスの一例としては、個々の企業の財務情報や特徴に加えて、これらの企業の販売先・仕入れ先との取引関係や金融機関取引関係も考慮した機械学習ベースのモデル構築、倒産予測を目的としたスコアリング、企業審査の省力化・自動化が挙げられます。同様に、不正会計検知・予測についても、企業の財務データ、企業の特徴、取引ネットワーク情報を参照した機械学習ベースのモデル構築を行います。UTEcon のエキスパートは、倒産予測及び不正会計検知に関する多くの特許の発明者であり、信用調査会社や大手会計事務所等とのプロジェクトに関与しています。また、不正会計の訴訟問題や内部調査についても、経験豊富なUTEcon のエキスパートが定量的な実証等を行い、クライアントを支援致します。

エキスパート

北川教央
柴田真宏
首藤昭信
滝澤美帆
宮川大介
矢入健久

▶その他

リサーチ・データ設計

パネルデータ構築のための調査を行うクライアントに対し、質問事項の作成や調査のデザインをサポートします。調査の設計では、欠落率、回答率、母集団の代表性等を考慮し、統計的に妥当なパネルデータを作成できるよう、アドバイスをを行います。また、調査回答からパネルデータを構築、経済分析の実施サービスも提供しています。UTEcon のエキスパートは、全国調査パネルデータの設計や管理の経験を有しています。

エキスパート

川口大司
山口慎太郎
渡辺安虎

マクロ経済・金融政策

マクロモデル・統計モデルをマクロ経済分析に活用することを検討しているクライアントに対して、アドバイス・研修を提供します。UTEcon のエキスパートは、金融政策に実務・研究の両面での経験が豊富です。その強みを生かし、各国の中央銀行が使っているマクロモデル・最先端の理論・実証研究の知見に基づいて、金融政策分析に従事するクライアントにアドバイスを提供します。

エキスパート

五島圭一
新谷元嗣
仲田泰祐
渡辺努

エキスパート（2020年11月時点、五十音順）

泉敦子

UTEcon シニアエコノミスト。企業合併審査、損害賠償額の推定、労働差別に関する分析、労働市場集中と賃金の分析等を行った経験を持つ。前職の公正取引委員会企業結合課で経済分析を担当した経験を活かし、実務を理解したうえでの学術研究成果を活用した最先端の経済分析を実施する。ワシントン大学 PhD(経済学)。



川口康平

香港科技大学商学院経済学部助理教授。UTEcon アドバイザー。計量経済学、経済理論にもとづく反実仮想予測をもちいた競争政策、マーケティング施策の効果の予測、フィールド実験による経営戦略の効果測定、アンケート調査にもとづく政策効果の測定などを行ってきた。ロンドンスクールオブエコノミクス PhD(経済学)。



上武康亮

イェール大学経営大学院マーケティング学部准教授。UTEcon アドバイザー。計量経済学、機械学習、経済理論モデルに基づく半実仮想シミュレーション等による各種マーケティング施策(広告効果測定、CRM 戦略策定、価格設定等)の効果検証、及び施策の実装を日米の大企業、スタートアップと共同で行ってきた。また、企業結合等独占禁止法に関する経済分析の経験を有する。ノースウェスタン大学 PhD(経済学)。



川口大司

東京大学大学院経済学研究科及び公共政策大学院教授。UTEcon 社外取締役。労働統計の設計・分析、人事データの分析、地価など空間データの構築・分析等についての分析経験を有する。また、公共政策の評価に関する共同研究の経験を多数持つ。前職は一橋大学大学院経済学研究科教授。ミシガン州立大学 PhD (経済学)。



大湾秀雄

早稲田大学政治経済学部教授。UTEcon アドバイザー。企業の人事制度や職場組織の設計およびそれらの生産性やイノベーションへの影響に関する研究を行う。人事データの活用法を提案する実務家向け研究会「人事情報活用研究会」を2014年以降毎年主宰。ワシントン大学、青山学院大学、東京大学を経て2018年より現職。スタンフォード大学 PhD(ビジネス)。



北川教央

神戸大学大学院経営学研究科准教授。UTEcon アドバイザー。財務会計の分野において、(1)会計利益情報の品質とその経済的帰結、(2)経営者による業績予想の戦略的開示とその経済的帰結などのテーマを中心に実証研究を行っている。不正会計の予測モデルの立案に関する技術アドバイスの経験を有する。神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程を修了後、2008年より現職。神戸大学博士(経営学)。



久保研介

慶應義塾大学商学部准教授。UTEcon チーフエコノミスト。産業組織論及び競争政策の分野において研究と実務の経験を有する。2014 年から 16 年までは公正取引委員会の企業結合調査官（主査）として、M&A の独禁法審査に係る経済分析を行った。米系コンサルティング会社を経て、2018 年より現職。UC バークレー PhD（農業資源経済学）。



小島武仁

東京大学大学院経済学研究科教授。同大学マーケットデザインセンター所長。UTEcon アドバイザー。専門分野は人と人や人とモノ・サービスを適材適所に引き合わせる方法を考える「マッチング理論」と、それを応用して社会制度の設計や実装につなげる「マーケットデザイン」。日本の研修医マッチング制度や待機児童問題を改善する具体的な方法の発明などで知られる。多くのトップ国際学術誌に論文を多く発表し、受賞多数。最も生産性の高い日本人経済学者とされている。また、大学内外との連携も積極的に行っている。ハーバード大学 PhD（経済学）。

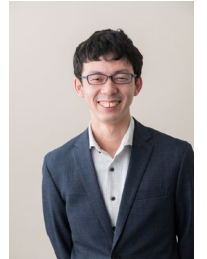


五島圭一

早稲田大学商学部講師。UTEcon アドバイザー。ファイナンス及びコンピュータサイエンスの分野における研究活動に従事。伝統的な資産価格データや企業財務データに加え、テキストデータや高頻度データ、ネットワークデータ等の様々なデータ分析の経験を有する。現在、日本銀行・金融研究所及び産業技術総合研究所・人工知能研究センターを兼務。東京工業大学博士（工学）。

柴田真宏

UTEcon アナリスト。民間企業でのコンサルタントとしての勤務経験があり、クライアント企業の経営におけるデータの管理、分析、活用までの一連の流れを支援した。飲食店、製造業、サービス業でのマーケティングの効果測定および需要予測の経験を有する。東京大学修士（経済学）。



首藤昭信

東京大学大学院経済学研究科准教授。UTEcon アドバイザー。実証的な会計学研究の知見にもとづいた様々なコンサルティング経験を有する。これまでに中央省庁、大手監査法人、格付機関、中央銀行または資産運用会社に対するアドバイザリー業務や共同研究を多数行ってきた。同分野で特許の発明も行っている。神戸大学博士（経営学）。



新谷元嗣

東京大学大学院経済学研究科教授。UTEcon アドバイザー。計量経済学の手法を用いたマクロ経済モデルの推定と、時系列分析や機械学習の手法を用いたマクロ経済変数の将来予測を専門とする。マクロデータサイエンティストとして政府系研究機関で多くの共同研究に参加。東京大学先端科学技術研究センター教授を経て、2018 年より現職。イェール大学 PhD（経済学）。

滝澤美帆

学習院大学経済学部教授。UTEcon アドバイザー。事業所、企業レベルや個人レベルの高粒度データを用いた生産性研究を専門とする。小売・卸売業、対個人サービス業、金融・保険業に属する多数の企業に対してデータに基づいた生産性研究の成果を活用したコンサルテーションの経験を有する。中央省庁において、生産性、無形資産、経済統計等に関する複数の委員を務めている。一橋大学博士（経済学）。



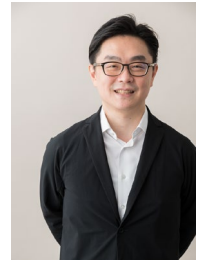
仲田泰佑

東京大学大学院経済学研究科及び公共政策大学院准教授。UTEcon アドバイザー。マクロモデル、時系列モデルを使っの様々な研究・経済分析経験を有する。前職の米国連邦準備制度理事会では、ゼロ金利下での金融政策に関する分析、マクロモデルの開発に従事。最先端の理論・実証研究を実務に生かすことを得意とする。ニューヨーク大学 PhD（経済学）。



宮川大介

一橋大学大学院経営管理研究科准教授。UTEcon チーフエコノミスト。機械学習手法や計量経済学手法を用いた企業退出予測、企業成長予測、不正会計検知・予測、与信判断自動化、金融取引における個別価格設定などを対象とした豊富なプロジェクト実施経験を有し、同分野において複数の特許を取得している。大規模データベースを用いたプロダクト・サービス開発の経験を有し、データベンダーから提供される構造化データにクライアント企業の保有する秘匿データを組み合わせたコンサルティングを得意とする。日本銀行金融研究所客員研究員、内閣府経済社会総合研究所客員研究員を兼任。UCLA PhD（経済学）。



矢入健久

東京大学大学院工学系研究科教授。同大学先端科学技術研究センター教授を兼任。UTEcon アドバイザー。知能工学、特に機械学習、確率的推論、動的システム学習を専門とする。データ駆動型健全性監視・異常検知／診断、状態・モデル同時推定の航空宇宙工学分野などへの応用の経験がある。東京大学博士（工学）。

山口慎太郎

東京大学大学院経済学研究科教授。UTEcon アドバイザー。ワークライフバランスやダイバーシティ促進、企業と求職者のマッチングサービスについて、データ分析に基づいたコンサルティングと研究の経験を有する。また、中央省庁・地方自治体において、労働市場、社会保障、そして教育政策に関する多数の研究会委員を務め、EBPM 実施のアドバイスを行っている。ウィスコンシン大学 PhD（経済学）。



山崎俊彦

東京大学大学院情報理工学研究科准教授。UTEcon アドバイザー。深層学習を始めとする機械学習や統計処理、パターン認識が専門。特に「刺さる」「映える」「響く」といった情動・感性を工学的アプローチによって定量化・予測、要因解析・説明、改善・増強する「魅力工学」を提唱し、基盤技術の構築と社会実装を行っている。例えば、印象的なプレゼンテーションの解析・指南や購入意欲を掻き立てる TVCM 作りなどに関する研究では、日経新聞やテレビ東京・WBS などでも取り上げられたほか、KFC Japan との共同研究では Instagram での「いいね数」を約 7 倍に向上。これまで通算 40 社以上と共同研究を行い、AI 技術に関する技術アドバイザーも 15 社以上歴任。人工知能技術に関して 20 件以上の国内特許、10 件以上の国際特許を保有。東京大学博士（工学）。

渡辺努

東京大学大学院経済学研究科教授。UTEcon 社外取締役。専門はマクロ経済、国際金融、企業金融。前職は日本銀行のシニア・エコノミストを経て、一橋大学経済研究所助教授・教授。共同開発した東大日次物価指数を 2013 年 5 月より一般公開したほか、同指数作成のアルゴリズムを特許登録。2015 年 2 月に日経等の出資により株式会社ナウキャストを創業し現在、同社技術顧問を務める。統計改革推進会議委員、総務省統計研究研修所客員教授、キャノングローバル戦略研究所研究主幹等を兼務。ハーバード大学 PhD（経済学）。

若森直樹

東京大学大学院経済学研究科講師。UTEcon アドバイザー。産業組織論で発展してきた手法である「経済理論に基づく反実仮想シミュレーション」を用いて競争政策の評価を中心に研究を行ってきたが、そのような手法を金融経済学（ヘッジファンド産業、中小企業金融）や医療経済学の領域に持ち込んだ分析経験も有する。元職のカナダ中央銀行では、消費者の決済手段選択とキャッシュレス化に関する研究に従事。ペンシルバニア大学 PhD（経済学）。



渡辺安虎

東京大学大学院経済学研究科及び公共政策大学院教授。UTEcon 取締役。需要予測、価格戦略、サブスク設計、機械学習の応用、計量マーケティング等についての現場レベル及びマネジメントレベルでの実務的な経済分析経験を有する。また、法規制対応に関しては電子商取引分野及び不公正な取引方法に関する経済分析の経験を有し、企業結合等独占禁止法等に関する案件についても研究成果を活用したコンサルティングが可能。前職はアマゾンジャパン経済学部門長。ペンシルベニア大学 PhD（経済学）。

